

令和 8 年度文京区障害者地域自立支援協議会

第 1 回こども支援専門部会 次第

日時 令和 8 年 6 月 22 日(月)午後 1 時開始

会場 文京シビックセンター地下 2 階 産業とくらしプラザ 研修室 AB

1 開会

2 議題

(1) 障害者地域自立支援協議会こども支援専門部会について

【資料第 1－1 号】【資料第 1－2 号】【資料第 1－3 号】

(2) 令和 8 年度の取り組みについて

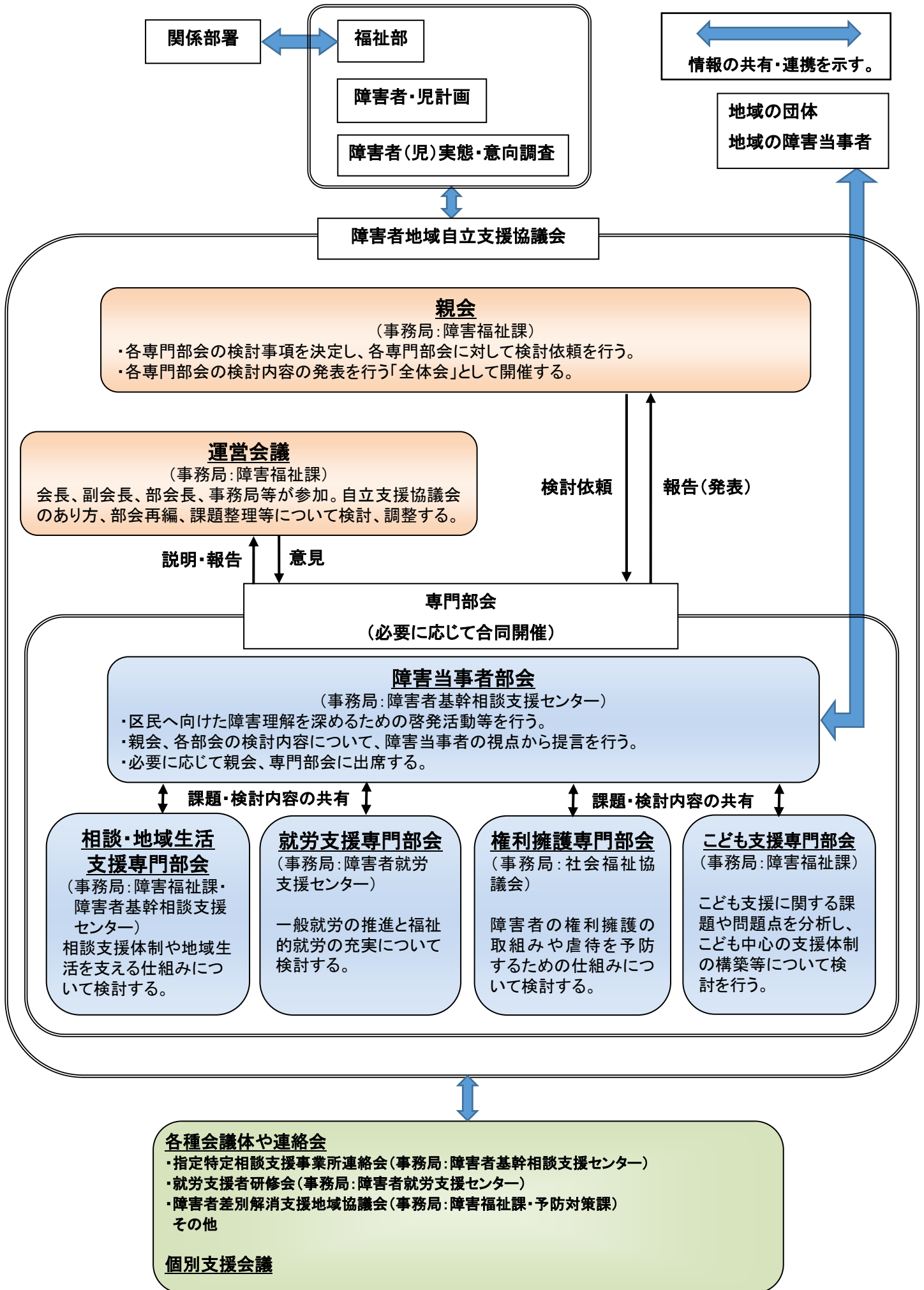
【資料第 2 号】

(3) 小グループディスカッションについて

3 その他

【参考資料】

- ・ 令和 8 年度自立支援協議会こども支援専門部会研修会（部会第 2 回）企画書
- ・ 研修会チラシ
- ・ 令和 8 年度 文京区障害者地域自立支援協議会こども支援専門部会員名簿



令和8年度 障害者地域自立支援協議会スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自立支援協議会 (親会)			第1回									第2回 (全体会)
運営会議		第1回					第2回					
障害当事者部会		説明・報告 意見	検討依頼	第1回 説明 意見		第2回	説明・報告 意見			第3回 説明 意見		発表
専門部会												
相談・地域生活支援専門部会				第1回		第2回				第3回		
就労支援専門部会				第1回		第2回				第3回		
権利擁護専門部会				第1回		第2回				第3回	全体会に資料提出が間に合うよう、各専門部会は会議を開催	
こども支援専門部会			第1回		第2回	第3回				第4回		

令和8年度文京区障害者地域自立支援協議会

各専門部会の検討事項について

令和8年度の各専門部会の検討事項は、下記の事項とし、検討事項については、文京区障害者地域自立支援協議会運営会議へ検討の進捗状況等を報告する。

また、年度末には、文京区障害者地域自立支援協議会（全体会）において各専門部会の検討内容の発表を行う。

各専門部会は、検討事項に属さない事項についても、必要に応じて検討するものとする。

記

1 相談・地域生活支援専門部会

相談支援に関する課題や問題点を分析し、相談支援体制のシステムや障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築等について調査・研究・検討を行う。

支援を円滑に引き継いでいく方法及び暮らしをサポートする仕組みについて検討する。

2 就労支援専門部会

就労に関する支援内容等についての調査・研究・検討を行う。

就労選択支援事業について、更なる研究及び検討を重ねる。

3 権利擁護専門部会

権利擁護に関する課題や支援のあり方についての調査・研究・検討を行う。

「生活の変化」から考える成年後見制度利用ガイドの活用、および、障害者の住まいの課題について検討する。

4 障害当事者部会

障害理解を深めるための啓発活動等についての検討を行う。

他専門部会や関係団体等と協働して開催し、障害当事者の視点から障害福祉に係る諸課題について検討する。

5 こども支援専門部会

こども支援に関する課題や問題点を分析し、ライフステージに応じた切れ目ない「こども中心の支援体制」の構築等について検討を行う。

こども支援に関する福祉、教育、保健及び家庭支援等の関係機関による相互理解・連携の促進を図り、こどもの特性理解に基づいた切れ目ない支援の課題について検討を行う。

令和8年度 第1回 こども支援専門部会

こども支援専門部会とは

- 目的

- 教育・医療・福祉の支援者が、こどもを中心に「顔の見える関係」を築き、地域課題を共有しながら、切れ目のない支援のあり方を考える場

- これまでに見えてきた課題

- 縦（ライフステージ）と横（多職種連携）の切れ目による支援の分断
- 支援をつなぐキーパーソンが不在で、一貫した支援体制を築きにくい
- 保護者が支援の橋渡し役を担わざるを得ない状況

- めざす姿

- 「切れ目」を「つなぎ目」に、弱い紐帯

R6研修会で分かった切れ目と課題



※令和5年度第1回子ども支援専門部会資料より抜粋、加工

令和8年度の流れ

- 第1回 研修会に向けてプレディスカッション
- 第2回 研修会（8月）
- 第3回 研修会を踏まえた課題の整理・提言
- 第4回 次年度に向けた検討

8月研修会について

- 目的

- 教育と医療、福祉が連携し切れ目のない支援を実現するために、顔の見える関係を構築する。
- 文京区の地域資源について理解を深める。
- 実際の事例を通して文京区独自の地域課題を抽出し、解決への糸口に向けて知恵を出し合う。

- 2025年8月3日（月）13：30～16：30（3時間）

- 『インクルーシブ教育を支える多職種連携を考える

～学校と放課後等デイサービスの協働実践を手がかりに、子どもの発達保障のあり方を探る～』

8月研修会のねらい

インクルーシブの理念が広がる一方で、教育・医療・福祉それぞれの現場ではこどもたち、保護者、職員が試行錯誤しながら日々を重ねています。

本研修は、「これが正解」という方法論を共有する場ではありません。

放課後等デイサービスと学校が協働した一つの実践を手がかりに、教育・医療・福祉の立場を超えて、こどもたちにとって必要な支援や連携のあり方を、ともに考える場を目指します。

8月研修会スケジュール

- ・ 13 : 00 開場
- ・ 13 : 30 あいさつ
- ・ 13 : 35 放課後等デイサービスの実践(20分)
 - ・ 5分 説明
 - ・ 10分 約3分ずつ事業所の実践映像
 - ・ 5分 まとめ
- ・ 13 : 55 放課後等デイサービスと学校が協働したインクルーシブ教育実践について事例報告(20分)
- ・ 14 : 15 ~休憩(10分)~
- ・ 14 : 25 小グループでディスカッション(50分)
- ・ 15 : 15 全体でシェアリング(20分)
- ・ 15 : 35 パネルディスカッション(45分)
- ・ 16 : 20 アンケート、挨拶
- ・ 16 : 30 閉会

研修会に向けたプレディスカッション

テーマ

インクルーシブ教育を支えるために、地域に何が必要だろうか？

- 論点 1

- インクルーシブ教育を進める上で、文京区の強み・資源は何だろうか？

- 論点 2

- インクルーシブ教育を支える上で、今足りないものは何だろうか？

- 論点 3

- 8月研修会で深めたいこと

- 全体共有
- 学識経験者コメント
- まとめ

R8 年度自立支援協議会子ども支援専門部会学習会 企画書

研修実施者	文京区障害者自立支援協議会 こども支援専門部会
目的	(1) 教育と医療、福祉が連携し切れ目のない支援を実現するために、顔の見える関係を構築する。 (2) 文京区の地域資源について理解を深める。 (3) 実際の事例を通して文京区独自の地域課題を抽出し、解決への糸口に向けて知恵を出し合う。
参加者	教育：区内小・中学校・都立特別支援学校の教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級・特別支援教室等の担任、通常学級の教員、幼稚園職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー 医療：医師、看護師、リハビリ専門職（PT・OT・ST・CP）等、保健師 福祉：障害児相談支援専門員、児発・放デイの管理者・支援員、基幹相談支援センター等、保育園職員、児童相談所職員、教育センター職員 地域の支援者：民生委員、塾
研修開催日・時間	2026 年 8 月 3 日 13：30～16：30（3 時間）
研修会名	インクルーシブ教育を支える多職種連携を考える ～学校と放課後等デイサービスの協働実践を手がかりに、子どもの発達保障のあり方を探る～
内容	①放課後等デイサービスの実際について ②学校と放課後等デイサービスが連携した実践報告 ③小グループディスカッション ④学識経験者によるパネルディスカッション
ねらい	インクルーシブの理念が広がる一方で、教育・医療・福祉それぞれの現場ではこどもたち、保護者、職員が試行錯誤しながら日々を重ねています。本研修は、「これが正解」という方法論を共有する場ではありません。放課後等デイサービスと学校が協働した一つの実践を手がかりに、教育・医療・福祉の立場を超えて、こどもたちにとって必要な支援や連携のあり方を、ともに考える場を目指します。

スケジュール	13 : 00 開場 13 : 30 あいさつ 13 : 35 放課後等デイサービスの実践報告(20 分) 5 分 説明 10 分 約 3 分ずつ事業所の実践映像 5 分 まとめ 13 : 55 放課後等デイサービスと学校が協働したインクルーシブ教育実践について事例報告(20 分) 14 : 15 ~休憩(10 分)~ 14 : 25 小グループでディスカッション(50 分) 15 : 15 全体でシェアリング(20 分) 15 : 35 パネルディスカッション(45 分) 16 : 20 アンケート、挨拶 16 : 30 閉会
--------	--

インクルーシブ教育を支える 多職種連携を考える

～学校と放課後等デイサービスの協働実践を手がかりに、
こどもの発達保障のあり方を探る～

インクルーシブの理念が広がる一方で、教育・医療・福祉それぞれの現場ではこどもたち、保護者、教職員が試行錯誤しながら日々を重ねています。

本研修は、「これが正解」という方法論を共有する場ではありません。

放課後等デイサービスと学校が協働した一つの実践を手がかりに、教育・医療・福祉の立場を超えて、こどもたちにとって必要な支援や連携のあり方を、ともに考える場を目指します

◆ 日 時

令和8年8月3日(月) 13:30～16:30

(開場 13:00)

◆ 場 所

文京区民センター 2A会議室
(文京区本郷4-15-14)



◆ 対象者

こどもの支援に関わる教育・医療・福祉関係者の皆さま

(例:教職員、学校心理・福祉職、保育士、児童指導員、相談支援専門員、医療従事者、福祉施設職員など)

◆ 内容

- ①放課後等デイサービスの実際について
- ②学校と放課後等デイサービスが連携した実践報告
- ③小グループディスカッション
- ④学識経験者によるパネルディスカッション

《申込方法》

QRコードまたはお電話からお申込ください

[申込締切] 7月17日(金)まで

提出先 文京区障害福祉課障害福祉係

TEL:03-5803-1211



令和8年度 文京区障害者地域自立支援協議会こども支援専門部会員名簿

No.	氏名	所属等	区分
1	高山 直樹	東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授	学識経験者
2	荻野 美佐子	上智大学総合人間科学部心理学科名誉教授	学識経験者
3	内海 裕美	吉村小児科院長	医師
4	向井 崇	放課後等デイサービスカリタス翼 管理者兼児童発達支援管理責任者	事業所等職員
5	勝間田 万喜	富坂子どもの家 管理者兼児童発達支援管理責任者	事業所等職員
6	塚本 了介	ハッピーテラス千駄木第二教室 児童発達支援管理責任者	事業所等職員
7	高山 陽介	わでかくらぶ代表	事業所等職員
8	内田 千皓	相談支援事業所やえ相談支援専門員	事業所等職員
9	高谷 通代	障害者基幹相談支援センター 副所長	事業所等職員（区委託）
10	柿沼 真理子	都立王子特別支援学校 特別支援教育コーディネーター	都教員
11	田邊 裕子	しおみ保育園長	区職員
12	川崎 洋子	こども家庭支援センター児童相談係長	区職員
13	加藤 たか子	保健サービスセンター保健指導係長	区職員
14	林 修也	教育指導課統括指導主事	都教員（区費負担指導主事）
15	井上 アヤ乃	教育指導課特別支援教育担当主査	区職員
16	小野寺 素子	教育センター総合相談係長	区職員
17	渋谷 尚希	予防対策課 精神保健担当係長	区職員

事務局	文京区障害福祉課障害福祉係
-----	---------------